

スズキ、インドからの四輪車累計輸出 300 万台を達成



スズキ株式会社のインド子会社マルチ・スズキ・インディア社（以下マルチ・スズキ）は、11 月 24 日に累計輸出 300 万台を達成しました。アフリカ向けの「フロンクス」、「バレーノ」、「ジムニー」等がグジャラート州のピパパブ港から出荷されました。

マルチ・スズキは、1986 年に輸出を開始し、翌 1987 年にはハンガリー向けの出荷を開始し輸出を本格化しました。輸出開始から 26 年をかけて 2012 年に 100 万台を達成し、9 年後の 2021 年に 200 万台を達成しました。今回の 300 万台達成は、200 万台達成からわずか 3 年 9 ヶ月で、これまでで最速の 100 万台輸出となりました。

現在マルチ・スズキは、2024 年 8 月に日本向け輸出を開始した「フロンクス」をはじめ、「バレーノ」、「ディザイア」など 17 のモデルを、アフリカ、中南米、アジア、中近東を中心とする約 100 の国と地域に向けて輸出しています。2023 年度にはインドの乗用車で最多※の約 28 万台を輸出しました。

スズキはインド国内の市場拡大への対応およびグローバル市場への輸出促進を通じ、インド政府が推進する「Make in India」に貢献していきます。

※インド自動車工業会（SIAM）データに基づくスズキ調べ。

以上